講 坐

## わが子を良い子に

Æ. 「小さい利己主義者」

橋 惣

Ξ

前の月にお話した、「人といつしよに樂

義的な性質といふことにあります。勿論 の一番大きな理由をなすものは、利己主 いといふこともありませう。しかし、そ せう。境遇の關係で、所謂人なれてゐな です。性質が内氣の爲といふ時もありま れには、いろ~~の理由原因もあること

によるのだらうかと考へて見ますと、そ して考へて見ませう。すなはち、人とい つしょに樂しむことが出來ないのは、何 しめる子」といふことを、もう一度裏かへ ところまでゆかないとも限りません。 遂には、こすい子、づるい子、といつた であつたり、我慾が强過ぎたり、その結 ると、充分注意しなければなりません。 つたり、さういふ傾向の著しい場合にな 果、人に幸福を分つことが全く出來なか れた超えて、自分の損徳に餘りにも敏感 むべきことではありません。しかし、 どもらしいことでこそあれ、さうし りません。我がまゝ、身勝手、それは子 かういふ子が、人と樂しめないのは言

利己主義だよといふことです。そして、 をいふものですが、あれは、つまりは、 もはよく、「誰れはづるいよ」といふこと 界と同じで、除けものにされます。子ど

でなく、子どもの世界でも、おとなの世

ふまでもありませんが、たい、それだけ

かち

子どもに求められる筈のものではわ

で、修養の積んだ聖人のやうな利他主義 的にいへば、子どもは一應主我なもの 利己主義者がゐるものです。但し、心理 過ぎた言葉ですが、どうかすると、隨分、 幼い子どもに、利己主義なんて、大げさ

お

國民榮養部 佐々木厚生科學研究所 佐々木 八つ

理喜子

【柏餅】 て御祝ひ致しませう。 り、興亞の時代にふさわしい柏餅を作つ 新絲かほる五 月の 大空 に 泳ぐ鯉のぼ

洗つて用ひます。片栗粉の代用は、餡に 巾を敷き、其の上に並べて十五分位蒸し よくまぶして蒸し、(此の時は下に經木を 蒸す時に包みます。新葉はそのまゝよく ます。柏の葉は古葉は一寸と茹て置き、 道明寺を全體にまぶし附け、蒸器に濡布 す。適當の大きさに小判形に平に作り、 し砂糖と少量の 鹽を加 へて 味を調へま ていたゞきます。さつまいもた蒸して潰 作り方 道明寺は乾飯様のもので、 材料 道明寺二〇五 甘藷五〇五 **あましたが、ない時には片栗粉を代用し** つてあります。都會では乾物屋に費つて の家や、臺所の始末をよくする家には作 五五 柏の葉以上で一五一カロリー

ところで、斯ういふ傾向のあることは、仲間はづれにされるのです。

あんまり、思ひのまゝにされて、自分天 す。しかし、それとは全く反對の場合で、 利己が强められたり するこ ともありま 出來ないといつた時、その不自然から、 あつて、いつも~~自分を充たすことが 利已主義者になるか、そのまた原因な考 こで、幼い子どもが、何故、そんなにも ら、一層の注意が必要になるのです。そ ういふ子は、大抵りこう者で、うはべは 甚だ勝れて見えること が多いのですか くから周到な注意が必要です。殊に、さ も斯ういふ傾向の强くならないやう、早 に憂ふべきことです。ですから、假りに にならなしとも限りません。その點、實 幼い時に人と樂しめないといふ許りに止 へて見ますと、非常に薄倖な境遇なぞに まらず、ゆく~、その性向が募ると共 人間として、甚だ好ましくない性格

> のです。 のです。 のです。 ですなはち、過不足のないよ によくある例です。ですから、我の滿 によくある例です。ですから、我の滿 によくある例です。ですから、我の滿

親の利己主義といって、きらり、可事方は、最もてきめんのやうです。ですが、わけても、利己的性質の傳はりですが、わけても、利己的性質の傳はりですが、わけても、利己的性質の傳はるものす。何んでも親の性質は子に傳はるものしたがし、これらよりも、もつと恐ろししかし、これらよりも、もつと恐ろししかし、

では、 でせう。 わたしも並で、そんな立派な にも利他的にといふことはむつかしいこ とでせう。 わたしも並で、そんな立派な にとが何より悪いやうです。 大変を話してゐるのではありません。 た、我が子本位の態度が餘り驚骨に出る でやうに、しのぐやうにと、いろくへの ぐやうに、しのぐやうにと、いろく ぐやうに、しのぐやうにと、いろく ではを仕向けたりするのです。 たったを仕向けたりするのです。 大達をしの がが子の爲のゑこひいきが、我が子を、利 我が子の爲のゑこひいきが、我が子を、利

出來なくなり、そこから利己が募つて來下になり、傍の人のことなど思ふことが

い為であります。 敷く)後で柏の葉に包みます。皮がはげな

材料 お冷御飯半杯(米で約三〇瓦)片栗【落花生まぶし】

粉六瓦落花生五瓦砂糖五瓦以上で一七三

カロリー

鹽を加へ、之れをよくまぶしつけ、小皿とて、ピーナッバタの様にして、砂糖として、ピーナッバタの様にもよく摺りつぶます。つみ入れの様に箸でちぎつて、おます。つみ入れの様に箸でちぎつて、おます。描鉢でよく擂り、片栗粉を加致します。擂鉢でよく擂り、片栗粉を加致します。擂鉢でよく擂り、片栗粉を加致します。擂鉢でよく擂り、片栗粉を加致します。

を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、砂糖五瓦 以上で一六〇カロリーを持五瓦 以上で一六〇カロリーを持五瓦 以上で一六〇カロリーを持五瓦 以上で一六〇カロリーを持五瓦 以上で一六〇カロリーを対は二切りにして種子を出します。食べれは二切りにして種子を出します。食べれば二切りにして種子を出します。食べれば二切りにして種子を出します。食べれて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を入れて白いソースを作り、材料を盛合を持たいます。

せた上にかけます。